

全分野		英語					
学年	第1学年	担当教員名	片岡務				
単位数・期間		2単位	通年	週あたりの開講回数	1回	必修	履修単位
授業の目標と概要		教科書と自主教材を活用して、平易な英文の読解力の向上、易しい英語による表現力の養成をめざす。また、英語による指示や説明、質問応答等、また音読や適宜リスニング教材を通して聞き取り能力や発話能力の向上を図る。そして以上のことにより、論理的な文章を英語で記述したり英語でコミュニケーションを行えるようになるための基礎的な英語力の養成を目指す。					
		釧路高専目標	F:100%	JABEE目標	f		
履修上の注意(準備する用具・前提となる知識等)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学の単語・熟語や英文法の知識がある程度身につけていることを前提とする。 ・ 適宜授業内容に関する平易な課題を出し、提出を課す。 ・ 上記の課題は、次回の授業時に発表をしてもらい、それに対して解答・説明を行う。 ・ 課題の解答・説明終了後、新たなパートの説明等を行う。 					
到達目標		英語コミュニケーション I の検定教科書に用いられている英文をある程度正確に音読ができ、そこに書かれている内容をある程度正確に理解でき、さらには中学で既習の文法事項を理解しそれを運用できるくらいの英語力を習得し、その力を随時発揮できる。					
成績評価方法		本授業の合否判定で用いる成績評価は、本授業の成績評価は定期試験の平均点が100%である。ただし、最終評価については、合格点であった学生を対象に、授業への参加姿勢の観点で±5段階の評価を出し、その評点を定期試験の平均点に加算減算して算出した点数とする。「英語」の合否判定用成績、最終評価及び再試験については補足資料を参照のこと。					
テキスト・参考書		テキスト：Grove English Communication 1New Edition (文英堂) 自学自習用教材：eラーニングで身につける英語の基礎 (ニュートン) 参考書：ジーニアス英和辞典第5版 (大修館) ：デュアルスコープ総合英語〔五訂版〕 (数研出版) ：総合英語フォレスト〔第7版〕 (桐原書店)					
メッセージ		<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材 (プリント) はかなりの分量になります。必ずファイル等にとじ込んで管理すること。 ・ 英語 (読解) の基本は、音読です。授業のあった日には、スムーズに読めるようになるまで家庭で音読をくり返してください。 					
前関連科目		後関連科目		英語 (2年)			

授業内容	
授業項目	授業項目ごとの達成目標
1. 教科書 Lesson 1 Part 2,3, Lesson 2 Part 1,2,3 * 文法項目：助動詞、S V, S V C, S V O, 接続詞 and、to 不定詞（名詞的用法）、動名詞 (7回)	1. 各レッスンの英文の概要を的確に把握できる 各レッスンの英文の音読が適切にできる 各レッスンの英文を参考にして簡単な英文を作ることができる 2. 教員の発話や質問の内容を理解し、的確に対応できる 3. 各文法事項の基本的な内容を理解できる * 文型の違いを見分けることができる。and の使い方が理解できる。to 不定詞の名詞的用法と動名詞の違いが理解できる。
前期中間試験	実施する
1. 教科書 Lesson 3 Part 1,2,3, Lesson 4 Part 1,2,3 * 文法項目：進行形、S V O O, S V O C、現在完了、過去完了 (8回)	1. 各レッスンの英文の概要を的確に把握できる 各レッスンの英文の音読が適切にできる 各レッスンの英文を参考にして簡単な英文を作ることができる 2. 教員の発話や質問の内容を理解し、的確に対応できる 3. 各文法事項の基本的な内容を理解できる * 進行形の表す意味を理解できる。第4文型と第5文型の文構造を理解できる。現在完了、過去完了の概念を理解できる。
前期期末試験	実施する
1. 教科書 Lesson 5 Part 1,2,3, Lesson 6 Part 1,2,3 * 文法項目：分詞の形容詞的用法、to 不定詞（形容詞的用法） 受動態、関係代名詞、to 不定詞（副詞的用法） (7回)	1. 各レッスンの英文の概要を的確に把握できる 各レッスンの英文の音読が適切にできる 各レッスンの英文を参考にして簡単な英文を作ることができる 2. 教員の発話や質問の内容を理解し、的確に対応できる 3. 各文法事項の基本的な内容を理解できる * 名詞を修飾する分詞の使い方を理解できる。受動態の概念を理解できる。関係代名詞の概念を理解し、適切に使い分けることができる。to 不定詞の意味の違いを適切に判断できる。
後期中間試験	実施する
1. 教科書 Lesson 7 Part1,2,3, Lesson 8 Part 1,2,3, * 文法項目：形式主語の it、S V O to 不定詞 使役動詞、知覚動詞 (8回)	1. 各レッスンの英文の概要を的確に把握できる 各レッスンの英文の音読が適切にできる 各レッスンの英文を参考にして簡単な英文を作ることができる 2. 教員の発話や質問の内容を理解し、的確に対応できる 3. 各文法事項の基本的な内容を理解できる * 補語に to 不定詞がくる文型の意味を理解できる。形式主語の使い方を理解できる。知覚動詞、使役動詞を使った文構造を的確に理解できる。
後期期末試験	実施する

到達目標			
1. 1. 英文を適切に音読できる。 2. 教科書の英文の内容を適切に理解できる。 3. 中学で既習の文法事項を理解し、運用できる。			
	理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安(良)	未到達レベルの目安(不可)
評価項目1	1. 英文を流暢に音読できる。 2. 教科書の英文の内容を説明ができるくらいに理解できる。 3. 基本的文法を用いて作文ができる。	1. 英文をある程度正確に音読できる。 2. 教科書の英文の内容を正確に理解できる。 3. 基本的文法が用いられた英文の意味が理解でき、さらに他の文法項目との関連を意識できる。	1. 英単語の発音が正確にできない。 2. 教科書の英文の概要さえも把握できない。 3. 基本的文法が用いられた英文の意味を理解できない。

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100%			±5% (可減)			100%
基礎的能力	100%			±5% (可減)			100%
専門的能力							
分野横断的能力							